



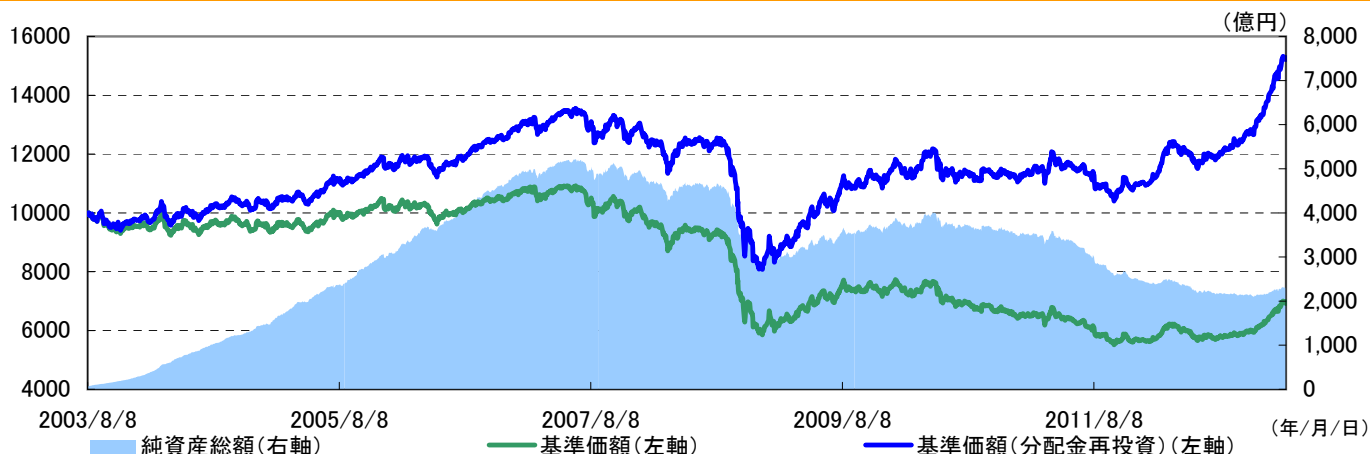
【臨時レポート】

ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド
第114期分配金のお知らせ

追加型投信／海外／債券

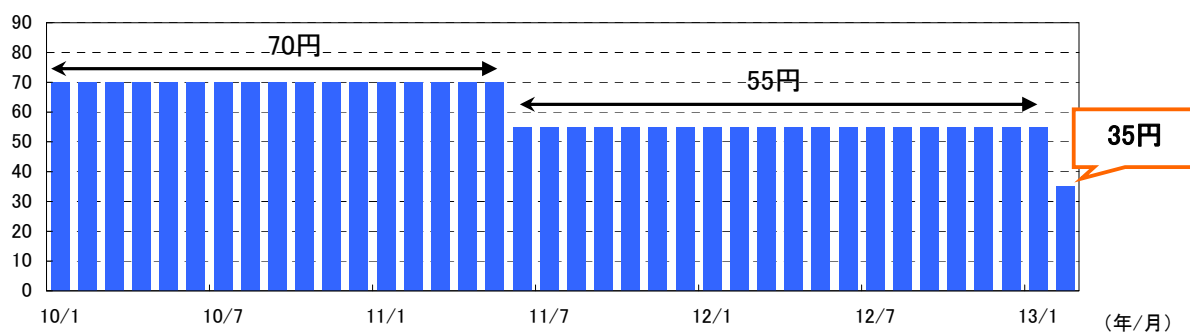
平素は「ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、この度当ファンドにつきましては、2013年2月15日に第114期の決算を迎え、当期の分配金を35円(1万口当たり、税引前)といたしましたことをご報告申し上げます。
当ファンドにおいては、基準価額(分配金再投資)でみるトータルリターンは、設定来52.1%の上昇と良好なパフォーマンスとなりました。一方、ファンドのインカム水準は、世界的な低金利環境の継続等に伴い低下しております。
その様な状況及び基準価額の水準等を踏まえ、分配金を引き下げることにより、引き下げた分をファンドの純資産に留保し、信託財産の成長を目指すことといたしました。
2ページ以降のQ&Aにて分配金見直しの背景や運用状況につき、まとめておりますので、ご参照のほどお願い申し上げます。

基準価額の推移 (期間:2003年8月8日(設定日)~2013年2月15日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.365%(税抜1.3%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

分配金実績(1万口当たり、税引前) (期間:第77期(2010年1月15日)~第114期(2013年2月15日))



・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

- ・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
- ・また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・基準価額および分配金は1万口当たりです。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド 第114期分配金のお知らせ

Q1 なぜ分配金が引き下げられたのですか？

A. 分配金を引き下げた分をファンドの純資産に留保し、信託財産の成長を目指すためです。

当ファンドの主要投資対象であるハイイールド債券と投資適格債券の各指数を50%ずつ合成したインデックス(米ドルベース)は、2003年8月末を100として指数化すると2013年1月末時点で203.7となっており、103.7%上昇しています。

2008年9月のリーマンショックにより、一時的に金利が上昇(債券価格は下落)したものの、その後、各国が相次いで金融緩和に踏み切ったことで、先進諸国の金利が低水準で推移しています。

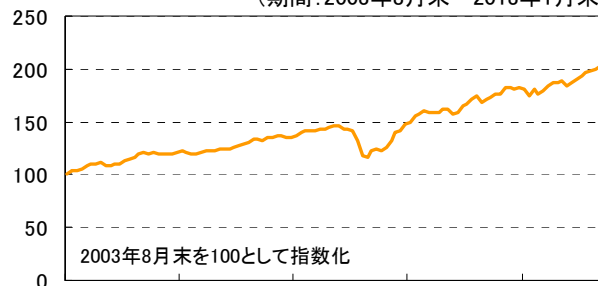
こうした中、金融緩和の効果等により、世界景気が回復に向かうとともに投資家のリスク選好姿勢が強まり、各国国債に対して相対的に利回りが高いハイイールド債券および投資適格債券が選好されやすい相場展開となりました。その結果、ハイイールド債券および投資適格債券の利回りは低下(債券価格は上昇)を続けており、それに伴い、当ファンドの利子収入は減少傾向にあります。

また、円高の進行により円ベースでのインカム水準も低下しました。

分配金は利子収入、売買益等の他、過去の収益の蓄積等から支払われますが、当ファンドでは足下インカム水準が低下しております。以上を踏まえ、信託財産の成長を図りながら収益分配を行うことが投資家の皆さまの中長期的な利益につながると考え、基準価額の水準、市況動向等を総合的に判断し、今般、分配金の見直しを行いました。

債券インデックスのパフォーマンス推移(米ドルベース)

(期間:2003年8月末~2013年1月末)



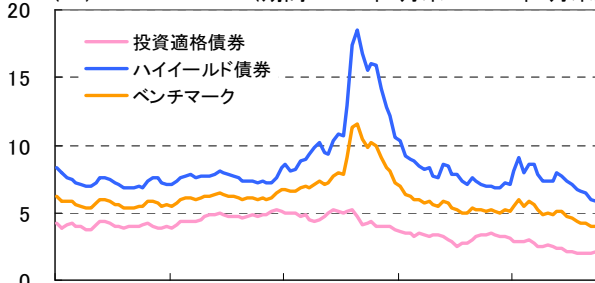
2003年8月 2005年8月 2007年8月 2009年8月 2011年8月

ハイイールド債券と投資適格債券の月次騰落率を平均して算出

(出所)BofAメリルリンチ社、パークレイズ社のデータより三菱UFJ投信作成

債券インデックスの利回り推移

(%) (期間:2003年8月末~2013年1月末)



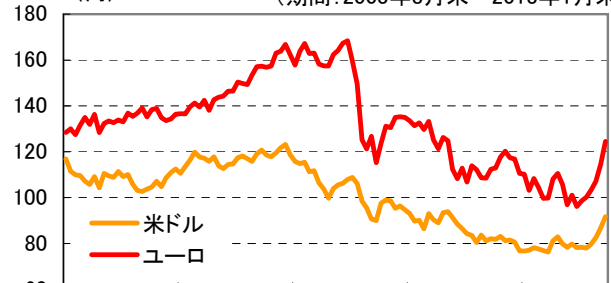
2003年8月 2005年8月 2007年8月 2009年8月 2011年8月

ベンチマークはハイイールド債券と投資適格債券の利回りを50%ずつ合成して算出

(出所)BofAメリルリンチ社、パークレイズ社のデータより三菱UFJ投信作成

為替レート(対円)の推移

(円) (期間:2003年8月末~2013年1月末)



2003年8月 2005年8月 2007年8月 2009年8月 2011年8月

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

・上記各グラフは指数を使用しています。指数についてはP7をご覧ください。また、上記パフォーマンスはファンドのベンチマークではなく、ファンドの運用実績を示すものではありません。・本見通し不利益分析は作成時点の見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。計測期間が異なる場合は、結果も異なることにご注意ください。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド 第114期分配金のお知らせ
Q2 運用状況について教えてください。
A. 相対的に高い利子収入や値上がり益、為替損益がプラスに寄与しました。

当ファンドは、金利低下局面により強い投資適格債券、金利上昇局面に下落耐性のあるハイイールド債券を組み入れることにより、長期的な値動きの安定化が期待できます。

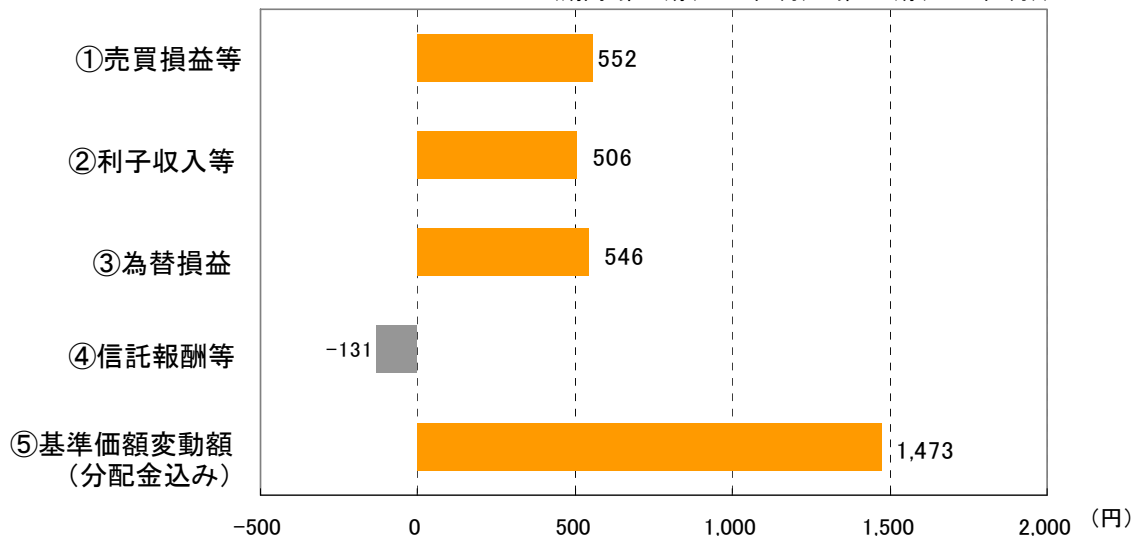
第95期初(2011年6月16日)から第113期末(2013年1月15日)までの基準価額(分配金再投資)は27.4%上昇しました。その間、合計1,045円の分配金をお支払いしております。

第95期初から第113期末までの基準価額の騰落要因を収益の源泉別にみると、

- ① 売買損益等については、金利低下による債券価格の上昇等により+552円の寄与となりました。
- ② 利子収入等については、世界的な低金利環境ながら、ハイイールド債券の相対的に高い利子収入が得られたことにより、+506円の寄与となりました。
- ③ 為替損益については、月により大きく上下に振れましたが、2012年11月以降為替相場が大きく円安に推移したことから、+546円の寄与となりました。

**当ファンドの基準価額騰落要因
(第95期(2011年7月)～第113期(2013年1月))**

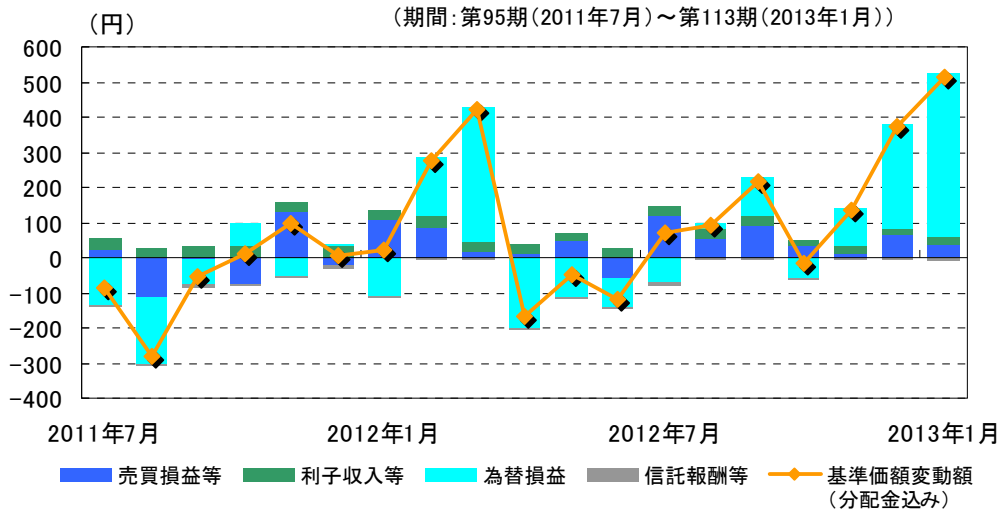
(期間: 第95期(2011年7月)～第113期(2013年1月))



基準価額変動額(分配金込み)は基準価額の変動と再投資しない前提の分配金(税引前)をもとに計算しており、分配金(税引前)を決算日に再投資したものとみなして算出した基準価額(分配金再投資)とは異なります。

- ・上記グラフの要因分析は、組入債券の値動き、為替変動の影響等が基準価額に与えた影響をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性等を保証するものではありません。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額変動額(分配金込み))と内訳の合計が相違することがあります。
- ・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・本見通し分析は作成時点の見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。
- ・基準価額は1万口当たりです。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド 第114期分配金のお知らせ
基準価額の要因分析グラフ(月別推移)

基準価額の要因分析表

(期間: 第95期(2011年7月)～第113期(2013年1月)) (単位: 円)

期	基準日	基準価額	前月比	売買損益等	利子収入等	為替損益	信託報酬等	基準価額変動額 (分配金込み)
第95期	2011年7月15日	6,142	-142	23	30	-133	-6	-87
第96期	2011年8月15日	5,805	-337	-116	28	-187	-7	-282
第97期	2011年9月15日	5,698	-107	-7	33	-71	-7	-52
第98期	2011年10月17日	5,656	-42	-75	32	64	-7	13
第99期	2011年11月15日	5,701	45	129	30	-52	-6	100
第100期	2011年12月15日	5,654	-47	-24	33	5	-6	8
第101期	2012年1月16日	5,621	-33	107	30	-107	-7	22
第102期	2012年2月15日	5,844	223	89	29	166	-7	278
第103期	2012年3月15日	6,210	366	16	26	387	-8	421
第104期	2012年4月16日	5,990	-220	12	28	-199	-6	-165
第105期	2012年5月15日	5,888	-102	46	26	-113	-7	-47
第106期	2012年6月15日	5,715	-173	-61	28	-80	-5	-118
第107期	2012年7月17日	5,729	14	121	27	-71	-8	69
第108期	2012年8月15日	5,766	37	56	23	20	-7	92
第109期	2012年9月18日	5,929	163	92	25	108	-8	218
第110期	2012年10月15日	5,858	-71	30	17	-59	-4	-16
第111期	2012年11月15日	5,936	78	11	23	106	-7	133
第112期	2012年12月17日	6,253	317	63	19	298	-8	372
第113期	2013年1月15日	6,712	459	40	19	464	-10	514

- ・上記グラフ・表の要因分析は、組入債券の値動き、為替変動の影響等が基準価額に与えた影響をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性等を保証するものではありません。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額変動額(分配金込み))と内訳の合計が相違することがあります。
- ・上記グラフ・表は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
- ・基準価額及び分配金は1万口当たりです。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド 第114期分配金のお知らせ
Q3 分配金を引き下げたのは、運用成績が悪いからですか？

A. 分配金を引き下げたのは、運用成績が悪いからではありません。投資信託の運用成績は、分配金に基準価額の値上がり/値下がりを含めたトータルリターンで考えることが必要です。

分配金はファンドの純資産から支払われるため、分配金を支払うと、その分、基準価額は下落します。したがって、分配金額が少ない方が多い場合よりも基準価額の下落は小さくなります。つまり、分配金の額だけで運用成績の優劣を判断することはできません。運用成績を判断するには、「基準価額の値上がり/値下がり」と、「受取分配金」との合計、即ち、「トータルリターン」で考えることが必要です。

なお、下記の通り、当ファンドにつき、設定日および各年末を起点として、「基準価額の値上がり/値下がり」(③)と「受取分配金」(④)との合計、「トータルリターン」(⑤)をまとめております。設定日および各年末の各時点を購入タイミングとして試算すると、2013年1月31日時点では全てプラスとなっていることが確認いただけます。

ご参考: 購入時期の違いによる総合的な運用成績(トータルリターン)の状況

(2013年1月31日現在)

購入タイミング	日付	購入時の 基準価額 ①	現在の 基準価額 ②	基準価額の 変動 ③=②-①	受取分配金 ④	総合的な 損益額 ⑤=③+④	総合的な 収益率 ⑤÷①
設定日	2003/8/8	10,000	6,826	-3,174	6,123	2,949	29%
2003年末	2003/12/30	9,530	6,826	-2,704	5,911	3,207	34%
2004年末	2004/12/30	9,634	6,826	-2,808	5,376	2,568	27%
2005年末	2005/12/30	10,257	6,826	-3,431	4,854	1,423	14%
2006年末	2006/12/29	10,665	6,826	-3,839	4,283	444	4%
2007年末	2007/12/28	10,200	6,826	-3,374	3,647	273	3%
2008年末	2008/12/30	6,200	6,826	626	3,011	3,637	59%
2009年末	2009/12/30	7,517	6,826	-691	2,290	1,599	21%
2010年末	2010/12/30	6,423	6,826	403	1,450	1,853	29%
2011年末	2011/12/30	5,684	6,826	1,142	715	1,857	33%
2012年末	2012/12/28	6,460	6,826	366	55	421	7%

上記は基準価額の変動と再投資しない前提の分配金(税引前)をもとに計算した値であり、分配金(税引前)を決算日に再投資したものとみなして算出した基準価額(分配金再投資)とは異なります。

- ・上記表は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・運用状況によっては分配金額が変わる場合、または分配金は支払われない場合があります。
- ・計測期間が異なる場合は結果も異なる点にご注意ください。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド 第114期分配金のお知らせ

Q4 投資環境と今後の見通しを教えてください。

世界経済は、ECB(欧州中央銀行)による金融緩和等を背景とした欧州債務問題に対する懸念の後退や、米国の「財政の崖」問題がひとまず回避されたこと、また中国のGDP(国内総生産)成長率が前期比で改善を示すなど、徐々に持ち直しの動きが広がっています。
 このような状況下、世界的な低金利環境の継続により、投資家の高い利回りを求める動きが引き続き期待されることから、ハイイールド債券市場をサポートする要因となると考えられます。

為替については、安倍政権の誕生により金融緩和観測が高まったことで、足下、円は米ドル・ユーロなどをはじめとする、各国の通貨に対して円安傾向に推移しています。日本がデフレ脱却に向けて金融緩和スタンスを強めることは、今後も円安要因として残るものと思われまます。
 また、東日本大震災を契機として火力発電の割合が増加し、資源の輸入量が増加したこと等から日本の経常黒字が減少、実需の円買い圧力が緩和される可能性が残ることも、円安をサポートする要因になると考えられます。

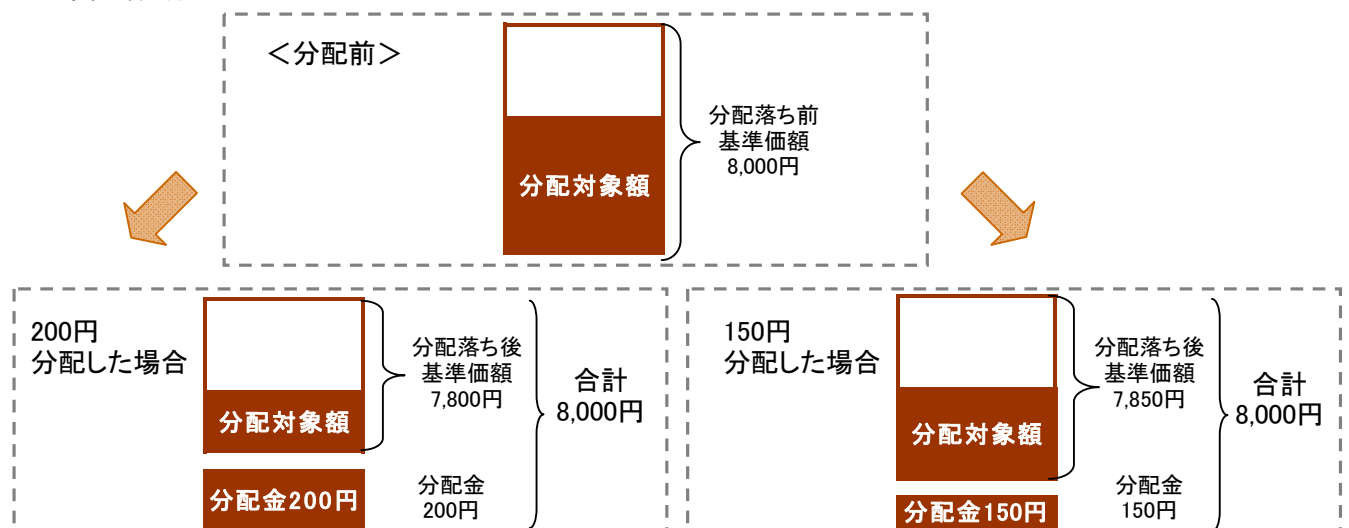
・本見通しないし分析は作成時点の見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

Q5 分配金を引き下げた分はどこに行くのですか？

A. 分配金を引き下げた分は、ファンドの資産内に残ります。したがって、分配金支払い後の基準価額は、分配金を引き下げた分だけ下落は小さくなります。

投資信託の分配金は預貯金と異なり、投資信託の純資産から支払われます。つまり、分配金はファンドの元本と別に管理されているわけではなく、ファンドの資産の一部として運用されています。そのため、分配金を支払うと、その分資産が減り、基準価額は下落します。

<基準価額と分配金のイメージ>



・上記は分配金と基準価額のイメージ図であり、ファンドの運用成果等を示唆・保証するものではありません。
 また、上記イメージ図では保有資産、為替の変動等による純資産価値の変動は考慮していません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド 第114期分配金のお知らせ

Q6 今回の分配金の水準はいつまで続くのですか？

A. 将来の分配金額については、あらかじめ一定の額の分配をお約束できるものではありません。

分配金額は、ファンドの分配方針に基づき委託会社が決定しますが、将来の分配金額につきましては、あらかじめ一定の額の分配をお約束できるものではありません。今後の運用状況や市況動向等によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

Q7 今後の分配金は再度引き下げ、あるいは引き上げられることはありますか？

A. 今後の分配につきましては、基準価額水準や市況動向等を総合的に勘案して決定いたします。

今後の分配につきましては、引き続き分配水準の安定性に配慮しながら、分配方針に従い、基準価額水準や市況動向等を総合的に勘案して分配金を決定いたします。当ファンドの分配は、利息収入、債券や為替の値上がり益の合計額および過去の収益の繰越分(分配を行わなかった分)などを収益分配原資として行います。したがって、これらの状況の変化により分配金額は下がることも上がることも考えられます。様々な要因により分配原資総額は変化いたしますので、将来の分配金額については、あらかじめ一定の額をお約束できるものではありません。

今後とも引き続き、『ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド』をご愛顧いただきますよう
宜しく願い申し上げます。

【当資料で使用している指数について】

■投資適格債券：パークレイズ・グローバル総合(日本円除く)インデックス

パークレイズ・グローバル総合(日本円除く)インデックスとはパークレイズ社が算出するグローバルベースの投資適格債券の値動きを示す代表的な指数です。

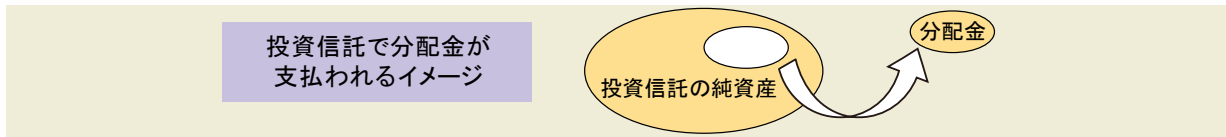
■ハイイールド債券：BofAメリルリンチ グローバル・ハイイールド・インデックス(BB-B)

BofAメリルリンチ グローバル・ハイイールド・インデックス(BB-B)とはBofAメリルリンチ社が算出するグローバルベースの高利回り債券の値動きを示す代表的な指数です。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

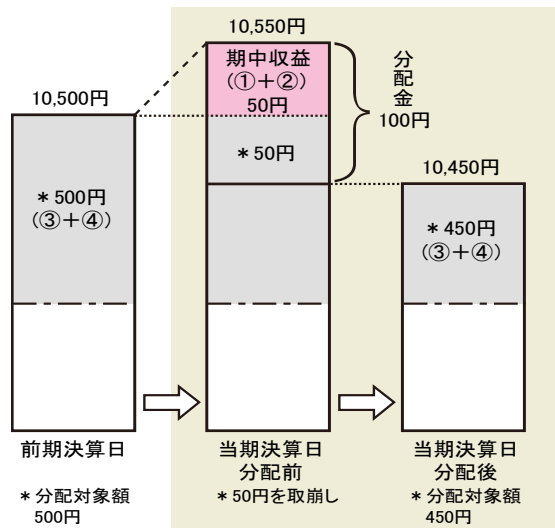


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

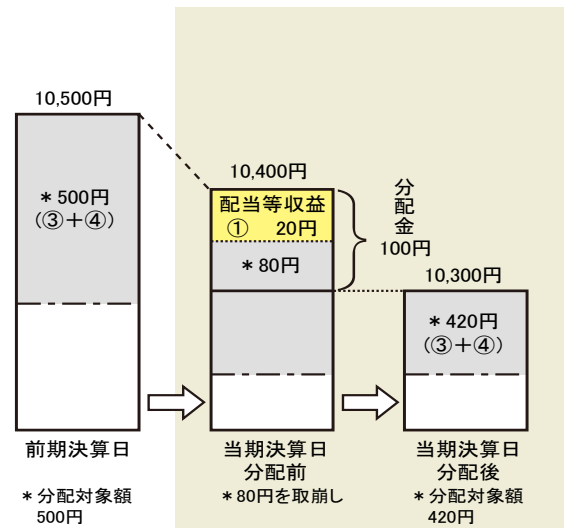
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



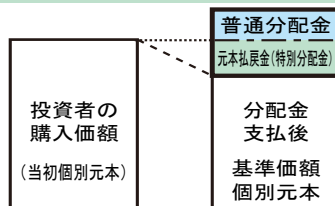
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

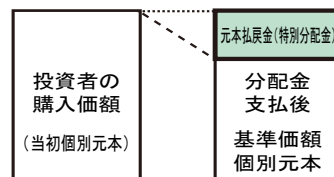
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。



ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

日本を除く世界のハイ・イールド債券および投資適格債券を実質的な主要投資対象とし、高い利子収入の獲得をめざします。

■ファンドの特色

- ・主として円建外国投資信託であるピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンドおよびピムコ ケイマン グローバル アグリゲイト エクス・ジャパン インカム ファンドの投資信託証券への投資を通じて、世界各国の国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券(MBS)、資産担保証券(ABS)等を実質的な投資を行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)
- ・各投資信託証券の組入比率は、それぞれ純資産総額の50%程度となるように調整します。
- ・BofAメリルリンチ グローバル・ハイイールド・インデックス(BB-B、円ベース) × 50% + パークレイズ・グローバル総合(日本円除く)インデックス(円ベース) × 50%の合成指数をベンチマークとします。
- ・実質的に投資する債券は、原則として購入時において、高利回り債券(ハイ・イールド債券)はB-格相当以上の、投資適格債券はBBB-格相当以上の格付けを取得しているものに限定します。組入債券の平均格付けは、ファンド全体で原則としてBBB-格相当以上を維持します。
- ・実質的な組入債券の平均デュレーションは、原則としてベンチマーク±2年以内とします。
- ・実質的な組入外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。
- ・運用指図に関する権限は、ピムコジャパンリミテッドに委託します。
- ・毎月の安定分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ・「ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド」と「ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド(為替ヘッジ付き)」の間で、スイッチング(乗換)が可能です。なお、スイッチングの際は、換金するファンドに対して信託財産留保額および税金がかかります。
- ・販売会社によっては、「ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド(為替ヘッジ付き)」の取扱いまたはスイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは販売会社にご確認ください。

<主な投資制限>

- ・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。
- ・外貨建資産への直接投資は行いません。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。
投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。(次ページに続きます。)

市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

(為替変動リスク)

「ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド」

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

「ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド(為替ヘッジ付き)」

組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ投信株式会社

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社(購入・換金の取扱い等)

後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 …三菱UFJ投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド
投資リスク
流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

ファンドは、格付けの低いハイイールド債券を主要投資対象としており、格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

手続・手数料等
■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	1万口単位または1口単位のいずれか販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額－信託財産留保額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日、その他ニューヨークにおける債券市場の取引停止日は、購入・換金のお申込みができません。2013年の該当日は1月21日、2月18日、3月29日、5月27日、7月4日、9月2日、11月11日、11月28日、12月25日です。なお、休業日および取引停止日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	無期限（2003年8月8日設定）
繰上償還	受益権の口数が50億口を下回る事となった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。なお、投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。
決算日	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。

ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド
手続・手数料等
■ファンドの費用・税金
・ファンドの費用
【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】
お客さまが直接的に負担する費用
購入時

購入時手数料	購入価額 × 2.1% (税抜 2%) (上限) 販売会社にご確認ください。
--------	--

換金時

信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 × 0.3%
---------	---------------------------------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用
保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額 × 年1.365% (税抜 年1.3%) ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用 (信託報酬) はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用 (信託報酬) は上記と同じです。
---------------	---

その他の費用・手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
------------	--

※運用管理費用 (信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料 (監査費用を除きます。) は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用 (信託報酬) およびその他の費用・手数料 (国内において発生するものに限ります。) には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書 (交付目論見書) 等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。》

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**
受付時間 / 9:00~17:00 (土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufig.jp/>
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
基準価額・分配金をメール配信 (*メール配信対象外ファンドもあります。)



販売会社情報一覧表

ファンド名称:ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド

商号	登録番号等	加入協会
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 鹿児島銀行	登録金融機関 九州財務局長(登金)第2号	日本証券業協会
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 京都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第10号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社 鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第3号	日本証券業協会
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第75号	日本証券業協会
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1977号	日本証券業協会
株式会社 百十四銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第5号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／ 一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第8号	日本証券業協会